



# *GOVERNOR'S MONTHLY LETTER*

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019. 8

Vol. 2



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ  
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

表紙の写真説明

夏の花といえば  
向日葵でしょう。  
ゴッホの気持ちも  
わかりますね！  
イチゴのバス停も  
彩りを添えて。

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
地区委員長挨拶	4
R I 2017-2018年度の財務報告	13
2019年規定審議会報告	14
ご投稿をお待ちしています！ 「ロータリーの友」投稿規定	15
米山委員長セミナー報告	16
文庫通信 [377]	17
マダガスカル通信Vol.1	18
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

## Governor's message



## 公式訪問での話題は？

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

7月16日から公式訪問が始まりました。まずは、訪れるクラブの皆さんの温かい歓迎に深く感謝申し上げます、公式訪問はロータリーの大切な年間行事のひとつです。国際ロータリー第2740地区のロータリアンは約2,250人。このすべてのロータリアンにガバナーは国際ロータリー会長のテーマを披露し、地区のテーマを説明する大切な使命を果たさねばなりません。使命はさておいて、私は「56すべてのクラブを訪問すること」としました。その理由は「クラブの皆さんと親睦を温めたいからとクラブを元気にする知恵を皆様から私に授けてほしい。」と願うからです。私にとっても人生二度とないチャンスです。

近年、国際ロータリーは大きく方向を急速に変えつつあるようです。その理由はDLP義務化、CLP推奨で分かるように、会員数減少に危機感を感じた国際ロータリーが懸命に既存の規則を変更していることにあります。今年の4月の規定審議会で審議された議案の中に、「会員数が6名未満となったクラブは、ガバナーの要請により理事会がそのクラブを終結させることができる。」ということがあげられていました。

国際ロータリーが言うようにクラブ会員数が少ないのを危機と言うのは本当でしょうか？ 6名以下になったらクラブは解散すべきなのでしょうか？ 当地区には、クラブ会員数20名以下のクラブは4つあります。前年度、第3グループの白石ロータリークラブが解散いたしました。そこで、当地区は57クラブが56クラブに減りました。

2019年6月末日をもって解散した白石ロータリークラブのことを皆さんは知っていますか？ 過去のガバナーが公式訪問した際、最も関心の度合いが高かったのは白石ロータリークラブでした。あまりにも快い例会だったようで、各ガバナーの口癖は「白石は会員が少なくても楽しい。会員減少をあまり気にする必要ない！」でした。実は、白石ロータリークラブは2018-2019年度の第3グループのIMの当番だったそうです。解散の決まった2018-2019年度末に、見事IMを成功させ、しかも6月の最後の週まで淡々と例会を開催されたそうです。最後の例会は夫婦ともども、寿司屋さんで、開催されたそうです。まさに、ロータリアンの鏡であります。

私が白石ロータリークラブに送りましたメールを添付いたします。

白石ロータリークラブ 会長 山口 繁喜様

本日は貴クラブの最終例会とのことで、私は先日、メーキャップを申請いたしました。理由は貴クラブが本年度で国際ロータリーを離脱し、解散するとお聞きしました。残念です。しかし、貴クラブはIMをきちんと実行され、最後の例会まできちんと開催されるとお聞きしました。ロータリアンの鏡と思い深く尊敬いたします。今年4月の規定審議会で「6名以下のクラブはガバナーが解散を指示できる」という私には理解しがたい案が決まりました。深く、ロータリーの未来を憂慮するものであります。私が今回実行しました「アンケート調査」では「人数が少ないクラブほど団結が強く、親睦度が強く、ロータリーについて深く考えるクラブである」ことが実証されました。貴クラブは会員数が5名ですが、過去のクラブ訪問されたガバナーがすごくいいクラブ、楽しいよ！と申されていました。だから、一度はメーキャップすべきとすすめておられました。白石大町RCクラブ会長も今回、メーキャップを薦めてくれました。私も



ロータリアンの一会員としてメーキャップしたいと考えました。しかし、「最後の例会だから、メンバーだけで過ごしたい」という希望があることをお聞きしました。残念ですが、皆様の気持ちを大切にしたいと考え、メーキャップを辞退することといたしました。どうか素晴らしい最後の例会となることをお祈りいたします。ロータリーに深く貢献された皆様に深く感謝申し上げます。

諫早北ロータリークラブ 千葉 憲哉

昨年、私は入会者減少と退会者の続出をロータリーの危機ととらえ、「ロータリアン、各々自身で、ロータリークラブの原点を見つめなおす必要がある」と思い、2018-2019年度福田ガバナーおよびガバナー補佐の皆様、会長幹事の皆様のご協力をいただき、ロータリアン全員に（第2840地区で実施されている）アンケート調査を実施させていただきました。その結果を踏まえ、各クラブを公式訪問することにいたしました。クラブを一つずつ訪問し、膝を交えて、各クラブの問題点に耳を傾け、地区が協力できることは何か？ の答えを探そうと思いました。

皆様から頂いた、アンケートを集計するうちに、いろいろなことに気づかされました。まず、**会員数が少ないクラブほどロータリアンとして他の会員から受け入れられており、会員同士の親睦に熱心で団結力が強いこと**がうかがわれました。白石ロータリークラブがその好例です。むしろ、大きいクラブほど危機感に乏しく、アンケート調査への協力が不足していました。昨今、1部上場の大会社が突然倒産したり、他の経営者に変わったりとびっくりするような社会現象が当たり前のようになりました。人材不足に悩む中小企業がむしろ、社員を大切にし、会社の方向性に敏感に反応していることに似ている現象と思いました。

また、**アンケート結果**、全体から見ると、**いずれのクラブも親睦を大切にしていることが明らか**です。まず、会員の満足度の調査では、「現状に満足している。活発に活動している。明るくて打ち解けた雰囲気である。自由闊達でオープンな風土である。」とすべての会員が思っていました。クラブの理想像としては「明るく活気に満ちた組織風土。親睦と友情を育む機会があること。地域社会に存在価値をみとめられる」と考え、**会員がロータリアンとしてのプライドを大切に考えていることが明らか**となりました。会員の理想像としては「会員同士の親睦と友情を大切にする。善良な市民である。高い商業倫理を持ち、自らの事業の社会的価値の向上に努める。」など、ロータリアンとして最も大切な**親睦と職業奉仕をいつも念頭に置いていること**がうかがわれました。思わず、ほっとする内容です。

企業では「危機の解決の答えは現場にしかない。」と言われます。現場からロータリー活性化のための答えを探す為に、皆様のクラブで実施していただいた**アンケート調査の結果を再度見直し**、自クラブの問題点を全会員で洗い出し、**例会や炉辺会合で問題提起**し、クラブ活性化のための戦略に結び付けたいかがでしょうか？ **きっと貴クラブがもっと素敵なクラブとして輝く答えが見つかる**でしょう。

## 地区委員長挨拶

基本理念委員会 **吉岡 義治** (佐賀南RC)

本年度、私たち、基本理念委員会は、ロータリアンとしての誇りを取り戻すために、「ロータリーとは何か？さらに行動するにはどうしたらよいか？」を考え、実行せよという命を受けました。

早速、基本理念委員会顧問であられる駒井バスターと行動計画案の作成に入りました。

まず、ロータリーの基本理念として、不変の二大モットーである、超我の奉仕、職業奉仕の理念について、奉仕月間に語るのは勿論ですが、ファシリテーションをRCの研修、及び諸会議に導入し、ロータリーを大いに語り、理解を深めることで、さらにモチベーションを高めることができると考えます。

その為にはまず、ディスカッションリーダーの育成が必要不可欠です。

各地区委員長の皆様に呼びかけ、本年度は9名の方々にロータリーのファシリテーションであるRLIの研修を受講していただきます。

そして9月にクラブ管理運営との共同セミナーで受講者の方々と何らかの形で、ご披露できればと思います。

まだ始まったばかりですが、ロータリーを知り、ロータリーの魅力を知ることによって、皆様のロータリーライフがより充実したものになればと願います。

クラブ管理運営委員会 **竹田 健介** (平戸RC)

5月19日(日)に諫早文化会館で地区研修・協議会が開催されました。次年度の会長、幹事を始め、主な部門を担うロータリアンの活動のスタートです。分科会ではクラブ管理運営委員会と会員増強委員会との合同部会となりました。クラブ管理運営委員会の役割はクラブの円滑な運営を助けることにあります。自分のクラブを顧みても会員減少に悩み、もっと活性化策はないかと考えるところです。私たちはまず自分の職業を通して社会に貢献しようと思っています。

更に歩を進めて自分だけではできないことも、多くの仲間の力を借りれば達成できることを知っています。親睦を重ね、話し合い、地域のニーズを探り、少しでも地域に必要とされる活動をと願っています。思えばロータリークラブに入会し、いろいろの恩恵を受けてきました。ロータリーの魅力とは各自それぞれでしょうが、大まかに言えば異業種交流ができること。生涯の友・仲間づくり、経営者としての学び・スキルアップ。加えて奉仕活動の達成感、例会そのものの充実感を味わうことができます。それらを高めていくことがクラブの務めと言えます。またそういうクラブには周りも目を向けています。自信を持って勧誘してみましょ。会員増強のカギはまず会員候補者リストの作成にあります。常時5名以上の候補者を挙げ、複数のアプローチで当たってみましょ。例会やイベントの雰囲気味わってもらいたいのもいいかも知れません。会員増強が活性化の近道です。

## 地区委員長挨拶



会員増強委員会 **佐藤 豊** (長崎琴海RC)



### 会員増強の現状と長期戦略

日本のロータリーの会員数は13万人を記録したが(97年6月末・2,238クラブ・131,731人)、98年以降、連続して会員数の減少を余儀なくされた。ここ数年の統計資料は、減少に歯止めができてはいるが、決して安定的ではない。ロータリー関連の資料や各地区におけるあらゆる会合、セミナーにおいても改善策、解決策が熱心に検討されているが「これで大丈夫」と言える決定的な答えは見出されていない。

#### 【会員減少の問題点】

会員数減少の原因を分析すると、まず退会防止が第1の原因である。

- 世界と日本全域に、不況に伴う不安定、不透明な経済環境→退会 ● 高齢、病気、死亡→退会
- 地方都市の過疎化→退会 ● 事業の合理化に関する職務多忙(例会に参加できない)→退会
- 例会時間帯、例会費が高い→退会…負担
- ロータリー情報不足、理解不足(ロータリーの魅力が伝わらない)→退会…失望感(期待はずれ)  
(入会3年未満の退会者が多い)

#### 会員減少の第2の原因

- 円熟したロータリアンの熱意不足…せっかくの貴重な経験や豊富な知識が活かされない
- 炉辺会談の不足(建設的、親密な人間関係が築けない)…ロータリーの過去の歴史や現在・将来を時間に気にせず語り合う機会が失われつつある
- 「ロータリー愛」が一般的に薄れる傾向…熱いハートでロータリーを語れる人々が減少傾向
- ロータリー本来のもつ、ステータスや魅力にかけりが発生しているのでは?  
(1業種1名、メイクアップ期間延長など価値判断基準の多様化)
- クラブ会長の会員増強スイッチがONでない
- クラブ会長・幹事は奉仕活動に優先順位があり、会員増強の順位向上ができない。
- 会員増強は誰かがやってくれるという「他力本願」的な考えに支配されていないか?
- 会員増強委員会は、社会不安の中、地域内での増強見込みに消極的になっていないか?
- 女性会員への理解不足

会員増強に対する  
専門的知識や  
方法・手段が不足  
などが考えられる。

#### 【会員減少に類する問題点】

- 8月の会員増強月間で提唱された熱意が持続できない。
- クラブ会長、幹事が会員増強について、具体的な方針や計画を持たない。その結果、熱意、使命感を持って訴え続けられない。
- クラブ奉仕関連、会員増強セミナーなどで学んだことが、ホームクラブに完全に伝達されていない。「委員会報告」で発表して終わり。(義務的な出席、資料を受け取って自己満足→会員増強に反映されない)
- クラブ運営の理事役員において会員増強の年間を通した長期的展望がない。
- 女性会員の入会に拒否反応を示す会員がいる。

#### 【会員減少に類するその他の問題点】

- 女性会員の入会について、積極的に推進しようという雰囲気づくり、理解を深めようとする努力の欠如がある。(女性経営者の増加、女性だからこそできる職業分類上の増大、女性会員が入会されることによる効果など)
- 退会者を再入会へと促す視点の欠如。
- 入会を勧めるに当たって、テキストになる具体的な資料がない。(入会のしおり)
- 新しい会員にロータリーへの理解を助ける具体的な資料がない。  
(入会3年未満の会員向け…平易な言葉と写真付のテキスト、ビデオテープ・DVDなどの映像)

#### 【問題点を解決するために】

- どのような道程を考えれば良いか、更に効果的で満足感、達成感を実感できるか。私たちに求められる共通課題として、共に考えを進めよう。特に新会員向けのテキストはこの上ない手助けの役割を果たしてくれる資料として活用して頂きたい。また、入会金制度の廃止や例会数の月2回以上への移行など、急激な変化をもたらすRIの方針は、会員増強にも直接的な影響が考えられるため、各地区や各クラブの活動にも大きな見直しが望まれる。

<b>千葉ガバナー年度の会員増強目標値</b>			
会員50名以上	2名純増	会員50名未満	1名純増

## 地区委員長挨拶



公共イメージ委員会 **久保 泰正** (諫早西RC)



当地区に、公共イメージ委員会が創設されて3年目になりました。当初は他の地区にかなり出遅れていましたが、昨年度は皆様のお陰をもちまして、My Rotaryアカウント登録につきましては、45%まで上昇し全国34地区中7位というところまでできました。最終的には60%以上を目指したいと思います。またRotary Club Centralへの目標入力につきましても、本年度7月当初のセミナーにおきまして、ほぼ100%のクラブに目標入力をして頂いたと思います。まだ他の地区では、かなり苦戦しているのが実情のようです。

この2つの基本的な活動を達成して初めて、本来の公共イメージと認知度の向上に取り組むことができます。公共イメージの向上の目的は、ロータリーに対する地域社会の理解を促進し、現会員のモチベーションを上げ、入会見込者を増やしロータリーの強化を促すことに他なりません。

その方法としては、新聞、テレビ等のマスメディアだけではなく、ロータリー自身がSNS等で社会に発信していかなければなりません。そのためのブランドリソースセンターの活用がまだ不十分な状態です。本年度の地区委員会は、地域社会にロータリー活動を広く認知してもらうため、クラブのウェブサイト、フェイスブックなどのツールについて、より普及を目指したいと思います。

また各クラブの皆様が、クラブ戦略計画を実施していただき、またロータリークラブセントラルの目標項目の達成に努力して頂いて、本年度ロータリー賞を受賞できますように、できるだけ地区委員会もサポートさせていただきます。

前年度に引き続き私が委員長を拝命することになりましたが、より一層の皆様の御協力を願ひまして就任の挨拶といたします。



社会奉仕委員会 **帯屋 徹** (大村RC)



本年度の社会奉仕委員長を務めさせていただきます、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

さて、皆様もご存じのように、昨年度はDL Pに沿った地区組織の変更により、社会奉仕委員会は奉仕プロジェクト委員会の中に包括され、社会奉仕委員会という名前は無くなりました。しかしRIが提唱する今年からの大きな変化があり、社会奉仕委員会が復活されることになりました。2017年度RI理事会において、2019年7月1日より社会奉仕委員会の中に、国際青少年委員会と職業奉仕委員会を包括することが決定し推奨されたからです。ロータリーが行う奉仕を職業奉仕、青少年奉仕、社会奉仕などと分けて考えるのではなく、職業を通じて行った社会奉仕、青少年に対するあるいは地域に対する社会奉仕、と単純に考えようということではないかと思ひます。当然、職業奉仕に対する理念や思ひは大事にしなければいけないものですが、奉仕という形で実施した行為は社会奉仕と考えようということでしょう。

今、ロータリー特にRIの変化は、目まぐるしく速いと言われてひます。この流れを理解し付いていくことは、大変困難であります、時代や組織がどんなに変わっても、助けを必要としている人に、寄り添ひ最善の奉仕をすること、ロータリアンとして社会の役に立ちたいという心は変わらないと思ひます。より良き奉仕を求めて1年間社会奉仕委員会の仲間と共に、探求し広めていきたいと思ひます。ご指導ご鞭撻をお願ひし、就任のあいさつに代えさせていただきます。

## 地区委員長挨拶



ローターアクト委員会 **高松 茂信** (鹿島RC)



4月28日～29日、福岡サンパレスと隣の国際会議場で、第31回全国ローターアクト研修会が行われました。日本全国はもとより台湾やフィリピンからも多数参加者があり、登録者数は1,000名を超えたとも言われております。その中であって当地区のローターアクター（以下アクター）は皆、素直で良い子ばかりなのですが、どうしても他地区のアクターと比べて大人しい印象が否めません。2019～2020年度には活動が5クラブにまで減少してしまう当地区だけに、心配も尚更です。特に私が心配している事は“人前で喋れないアクターの増加”です。確かに人前に立って話すという事は大変な事です。緊張もします。現に私がそうである様に簡単にはいきません。しかし現在絶滅危惧種にあるアクトが再びかつての勢いを取り戻す為には、一人一人のアクターの頑張り是不可欠です。年に6回行われる地区行事も、出来るだけ世間の注目を浴びる（例えばマスメディアから取り上げられる様な）イベントを行って欲しいと思います。

最後になりますが、ロータリーの先生方にお願ひがあります。皆様方のクラブでアクターの力が必要な際には是非ともおっしゃって下さい。これからはロータリアンの為のアクターを指導してゆきたいと思っております。



インターアクト委員会 **徳川 清隆** (唐津RC)



今年度、昨年に引き続き地区委員長を拝命いたし、インターアクト委員会を担当させて頂きます。皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

インターアクトプログラムは、国際ロータリーの活動から発展し創設されたもので、国際間の理解あるロータリークラブの活動です。

インターアクトクラブは、ロータリークラブの提唱の下、12歳から18歳までの青少年男女が社会奉仕、国際理解、指導力育成に寄与して相共に活動する機会を得ることです。その活動基盤は、主に学校や地域社会に存在し、インターアクトという名称のとおり、インターナショナル（国際的）を意味する「インター」とアクション（行動）を意味する「アクト」という2つの語から派生、世界的青少年ネットワークとして認知されています。

その活動は、次の主な重要性を学びます。（八つの目標より概念抜粋）

- 1 指導力と優れた人格の育成
- 2 他者を尊敬し、進んで助ける態度
- 3 各人の責任を果たすことや一生懸命努力することの価値の理解
- 4 国際理解と親善の推進

今、世界150カ国以上、20,372ものクラブを擁し、会員数は468,556名を超えるインターアクトクラブの現況となっています。（2019年6月現在）

インターアクトクラブの存在は、ロータリークラブが地域社会で実施できる活動の中でも、より成果がわかる活動となり得ます。インターアクトクラブ結成に向けては、国際ロータリーから多くの資料を活用できることで可能となっています。ロータリーの「超我の奉仕」を学びながら、インターアクトクラブの成功に導けるよう提供できます。併せて、インターアクトクラブの活動は、学校や顧問の先生、ロータリークラブとの相互の理解と支援が不可欠だと認識しております。

地区委員会では、このような課題を踏まえながら、楽しく意義ある奉仕プログラムを提供し皆様方が参加できる機会を作っていきます。

その一つ、ロータリーが提供する奉仕に関心を抱く青少年、その関係者を対象に、指導する機会を作ります。年2回実施予定の指導者研修会になります。

また、年次大会ではインターアクトがより一層学びの機会になれるよう、支援を致します。

青少年奉仕活動では、ロータリアンとインターアクター、ローターアクターとの交流を促していきます。インターアクターとローターアクターと同じ青少年奉仕の理念の下、インターアクターがロータリーファミリーの大切な一員である事や身近な存在である事を認識してもらいます。

今年度、地区委員会は、各クラブから輩出された委員会メンバーを中心に、ロータリークラブはもとより地区内のインターアクトクラブの活動普及、提唱クラブへの支援、新しく発足されるインターアクトクラブへの情報提供が可能になるよう支援いたします。

今後、皆様方のご支援ご協力を賜りながら地区委員会活動を推進していきますので、どうぞ一年間宜しくお願ひ申し上げます。

## 地区委員長挨拶



国際青少年交換委員会 **アーリー・ジェフリー スチュアート** (諫早多良見RC)



ロータリアンの皆さん、こんにちは。青少年交換プログラム委員長に選ばれたことを光栄に思います。5月19日に、2019-2020年のテーマを発表しました。募集と宣伝についてです。

私たちはロータリーに関するすべてを宣伝したいのです。したがって、私たちはより多くの学生、より多くの学校、より多くのロータリークラブ、そしてより多くのホストファミリーを募集することができます。最も重要なのは、ロータリーの家族に加わるために学生と大人の両方を募りたいということです。

私たちのピーク時、過去には、毎年15から16人の交換留学生がいました。その高いレベルの参加に戻りたいと思います。

過去3年間にわたり、私たちの委員会は全く新しい青少年交換プログラム委員会を創設してきました。新しい委員がいます。すべての委員会のメンバーは、彼らの経験と新しいアイデアのために非常に大切にされています。

5月19日、地区2740の例会の後、私は夕食会で多くの才能のあるロータリアンに会いました。特に大村、唐津、佐賀のロータリアンにお礼を申し上げます。皆さんのもてなしに感謝し、皆さんのロータリークラブを訪れたり、訪ねたりすることを申し出ます。今度は、青少年交換プログラムのオリエンテーション例会にあなたを招待したいと思います。オリエンテーションは毎月諫早文化センターで開催されます。そして、私が夕食会で会うことができなかつた他のみんなに、私たちのプログラムについて来て、学んでください。私たちは、ホストクラブやホストファミリーに強力なトレーニングサポートと資金援助を提供します。

最後に、青少年交換プログラムに引き続き参加しているすべてのロータリー・クラブに感謝します。

Greetings fellow Rotarians! I am honored to have been selected as the youth exchange program chairperson. On May 19<sup>th</sup> we presented our theme for the 2019-2020 year. It is about recruiting and advertising.

We want to advertise everything about Rotary. Therefore, we can recruit more students, more schools, more Rotary clubs, and more host families. Most importantly, we want to recruit both students and adults to join the Rotary family.

At our peak, in the past, we had 15 to 16 exchange students each year. We want to return to that high level of participation.

Over the past three years, our committee has been creating a whole new youth exchange program committee. We have new committee members. Every committee member is highly treasured because of their experience and new ideas.

On May 19<sup>th</sup>, after the district 2740 conference, I met many talented Rotarians at the dinner party. I especially want to say thank you to the Rotarian members from Omura, Karatsu, and Saga. Thank you for your hospitality, and offers to come and visit your Rotary clubs.

In turn, I want to personally invite you to visit our youth exchange program orientation meetings. Our orientation meetings are held at Isahaya Cultural Center every month. And to everyone else that I did not get to meet at the dinner party, please come and learn about our program. We offer strong training support and financial support to host clubs and host families.

Finally, I want to thank all of the Rotary clubs who continue to participate in the youth exchange program.



## 地区委員長挨拶



RYLA委員会 **山口 宏二** (長崎RC)



昨年に引き続きRYLA地区委員長として活動することになりました。RYLAは地区内の若き指導者を育成することを目的としています。私たちが住んでいる地域の未来を担う青少年を育てることは、私たちロータリアンの責務だと考えます。RYLAの開催について2740地区では、毎年グループごとに移行する形を40年間続けています。私は、先輩ロータリアンの方々の努力により40年の長きにわたり継続している事、又開催する過程においてホストクラブが活性化する事並びにその開催地ならではの特色あるRYLAが以下の通り開催されていることは意義深い事であると思います。37回長崎RCの「観光フィールドワーク」、38回伊万里RCの「HUG避難所運営」、39回多久RCの「論語で学ぶ」、40回島原南RCの「このRYLAが君を変える～島原半島南部の歴史を訪ねて」。しかしながら、RYLAについても参加者の減少など多くの課題があります。青少年奉仕部門全体を見渡しても、委員会それぞれが地域間格差、少子化、事業継承の困難さなどが原因と思われる事で活動が縮小化していると言わざるをえません。本年度は、長崎北ロータリークラブにホストクラブとしてRYLAを開催して頂きます。RYLAのみならず、青少年活動が活性化されるように、地区内で議論し私たちの地区に多くの優秀な若き指導者が生まれるように、クラブ間の垣根を越えて情報を共有し語り合い活性化できうる道筋を見つけれられたらと考えています。今年度も宜しくお願い致します。



ロータリー財団委員会 **岡村 康司** (長崎南RC)



ロータリー財団は、人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を推進するプロジェクトに補助金を授与します。財団を通してロータリー会員はこれまで多くのプロジェクトを実施して安全な水を提供し、疾病と闘い、平和を推進し、基本的な教育を提供し、地域経済の発展を支援してきました。そしてロータリー財団は世界の先頭に立ってポリオ撲滅に取り組みそのリーダー的存在でありました。

本年度より3年間西川委員長の後任としてロータリー財団委員長を務めます。

当委員会は財団グループとして3委員会と4つの小委員会で構成されます。

財団の活動資金となる年次基金、恒久基金、そしてポリオプラス基金はグローバル補助金や地区補助金に形を変えて、世界的レベルでの人道支援や向学心と研究心に富む前途有望な学生に、より高度な教育環境を提供すること、また地域の社会奉仕活動の充実にも役立っています。

今年度も冒頭の5つの目標に「母子の健康」を加えた6つの重点目標に沿って委員会活動を進めてまいります。その成果が「Doing good in the world～世界でよいことをしよう」という最もシンプルで奥の深いスローガンを実践していくものであると考えます。

今年度の方針として従来活動を踏襲し継続していくことは大事ですが、ロータリアンとしてこれから何を為すべきかを委員会全体で考え、これまでの財団活動の実績を未来に繋げていける委員会にしたいと思っております。

財団委員長職は3年の任期となりますが、まずはこれから1年間皆様方のご協力とロータリー財団への多くの寄付をお願いし新任のごあいさつと致します。

## 地区委員長挨拶



補助金委員会 園田 嘉生 (佐賀南RC)



2019-2020年度国際ロータリー第2740地区の補助金委員長を拝命しました佐賀南ロータリークラブの園田嘉生と申します。なにぶん不慣れであり、また地区の委員としての経験もなく戸惑うばかりです。

さて、今回の委員長としての任命については、本年度のロータリー財団の委員長である岡村康司氏による推薦があったからだと思います。なぜなら、彼と私は職業会計人として同業者でもあり、私自身駒井パストガバナーの時のガバナー事務所の会計長を経験していたからだと察しています。

ところで、補助金委員会とはロータリー財団部門のなかでも、①地区補助金による地域のための活動、②グローバル補助金による国際的な活動、最近ではモンゴル国ウランバートル口唇口蓋裂手術の職業奉仕チームによるVTT事業、③海外へ留学生を輩出できる活動、地区補助金奨学生としてフランスへ留学した資金も補助金として支出されました。このような補助金をアメリカの財団本部や日本事務局に申請して活用するのですが、かなりの英会話力と経験がなければできないそうです。したがって、それを成し遂げてこられた前々年度や前年度の西川義文委員長や隈康二委員長に敬意を表する次第です。

今後、後任として委員会の委員長を引継いでいく訳ですが、以前の先輩委員長のご指導や助言を仰ぎながら職務を全うする所存です。

そして、今年度のロータリー財団部門の各委員会24名の皆様と協力し合いながら、ロータリアンとして奉仕の精神を形になるように実践していきたいと思っています。

皆様のご協力をお願い申し上げ就任の挨拶と致します。



資金推進委員会 古賀 秀仁 (伊万里西RC)



**【財団寄付一人平均150ドル】の達成にご協力下さい。**

ロータリー財団は100年以上もの歴史があり、ポリオ撲滅をはじめ数々の教育支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに取り組み、現在までに総額40億ドル以上の資金を提供しています。勿論この資金の礎は皆様のご寄付によるものです。財団の資金管理も適確に会計処理をされています。

財団では現在、地区補助金とグローバル補助金の制度が設けられており、寄付額の50%が補助金として活用出来る制度です。当地区では年々地区補助金の申請件数が増えており、この資金源を確保するためにも更なる財団寄付の増額が必要です。今年度目標財団寄付一人平均150ドルを達成していただくようお願い致します。

また、当委員会ではロータリーダイナースクラブカードの推進にも努めております。

カード利用額の0.3パーセントがカード会社からロータリークラブに還元されます。カードは個人カード・ビジネスアカウントカード・クラブカード・地区カードがありますが詳細は財団セミナー時に説明しますのでカードの普及にもご協力下さい。

## 地区委員長挨拶



ポリオプラス委員会 **上田 康雄**（長崎北RC）



昨年度に引き続き、本年度もポリオプラス委員長を拝命いたしました。ポリオはウイルスによっておこる感染症です。人から人へ食物などを介して経口的に感染します。ほとんど（9割）が不顕性感染で、症状が出ても軽い風邪程度ですが、まれに（1%）ウイルスが中枢の運動神経をおかして麻痺を起こします。このうち1割程度、呼吸筋が麻痺し呼吸器をつけないと死亡します。日本においても昭和24～36年頃にかけて大流行しました。

ポリオはワクチンによる予防が可能です。ポリオは1988年には世界125カ国において年間35万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により2009年には約1,600例まで減少、2018年は33例です。現在、ポリオの常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国ですがナイジェリアは2017年以後、発症は0です。

不顕性感染が多いということはウイルスを持っているが元気で自由に動ける人が多いということです。ブラジルのサッカーワールドカップの際、ブラジルの空港の下水からアフリカ由来のポリオウイルスが検出されたことがあります。従って此の活動を緩めると、あっという間に世界中にウイルスが蔓延してしまうかもしれません。

完全な根絶まで、もう少しです。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



資金管理委員会 **竹内 一**（長崎北RC）



本年度（2019～2020年度）より資金管理委員会を担当させていただきます。

資金管理委員会は、地区補助金・財団補助金の管理を通して補助金を利用するロータリアンに向けて、財団の事業の周知と利用の推進を図ります。

主な活動内容

1. 財務管理計画の作成と「地区の覚書（MOU）」の締結を支援する。
2. 補助金セミナーを企画実施して、クラブの参加資格認定事業を支援する。
3. クラブと地区が提唱するすべての補助金事業において適切な管理を指導する。
4. 補助金に関するすべての人の利害が対立しないような運営を行う。

以上、補助金の利用に関してはRI及び財団の明確な会計ルールの下に行いますが、それが利用促進の妨げにならないよう配慮していきたいと思っております。

2回目の地区委員長ですが、ガバナー事務所のご指導の下頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 地区委員長挨拶

米山記念奨学委員会 **大家 和義** (小城RC)

昨年に引き続き2740地区米山記念奨学委員長をさせていただきます、大家和義（小城RC）です。地区委員の経験者である本多・本村・牧・永田・芦塚さんの留任をお願いし、良い結果を残せるようにカウンセラー経験の大川・八戸さんに加わって頂き、地区の目標が達成できます様に地区委員全員で頑張っていきます。

ロータリーは、新年度を迎えておりますが、奨学生は既に4月のオリエンテーションからカウンセラー・世話クラブの皆さんとの付き合いは始まっており、7月の「研修・視察旅行」・8月「出前卓話」（9～12月に実施）研修会・米山月間の10月「米山の集い」・11月は、「地区大会」+その前日に「国際交流会」（ガバナー所在地区の中学生又は高校生と実施）+次年度奨学生の面接官オリエンテーション・12月は次年度奨学生の「面接試験」+学友会の「総会」までを年内に実施していきます。

翌年の2月次年度奨学生とのプレオリエンテーション・3月今年度の米山記念奨学生の「修了式+歓送会」で、送り出しをしますが、年度末の学友会「総会」で会えるのを楽しみにしています。

これからの総ての事業に悔いを残さぬ様に心掛けていきたいと思っております。

また、今年の米山記念奨学生への顧問・学友会担当として本多地区委員、寄付増進担当には本村地区委員、奨学生担当は委員長の私が務める様にしております。地区委員の皆さんの経験・ご意見・指導をいただき、ご協力をお願いし、頑張る努めていきますので、第2740地区内の56RCの会員の皆さん特にクラブ米山委員長の皆さん、どうぞ宜しくお願い致します。

千葉ガバナーより、年間個人平均寄付額16,000円/人を目指すことを、呼び掛けて頂いておりますので、私と共に地区委員とカウンセラーの皆様には米山月間の10月前後に実施する「出前卓話」にお供して頂き、個人平均寄付額の目標達成を呼び掛けて頂く様、お願い申し上げます。

## 2019-2020年度 地区大会

告知

11/8(金)

危機管理セミナー L & Lホテルセンリュウ  
諫早市永昌東町13-29歓迎晩さん会 L & Lホテルセンリュウ  
諫早市永昌東町13-29

11/9(土)

本会議 諫早文化会館  
諫早市宇都町9-2懇親会 ホテルグランドパレス諫早  
諫早市宇都町3-35

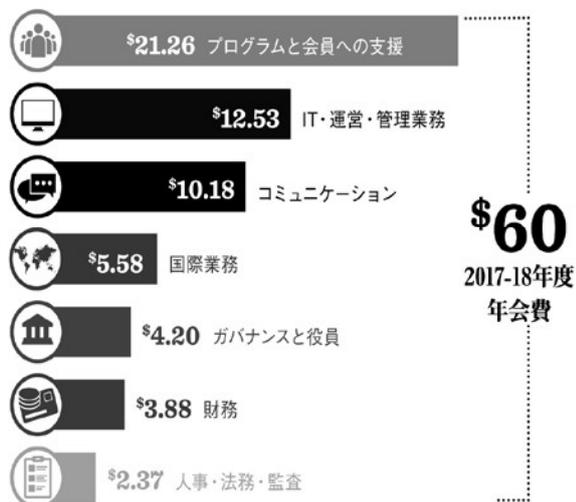
11/10(日)

ゴルフ大会 長崎国際ゴルフ倶楽部  
諫早市小ヶ倉町51



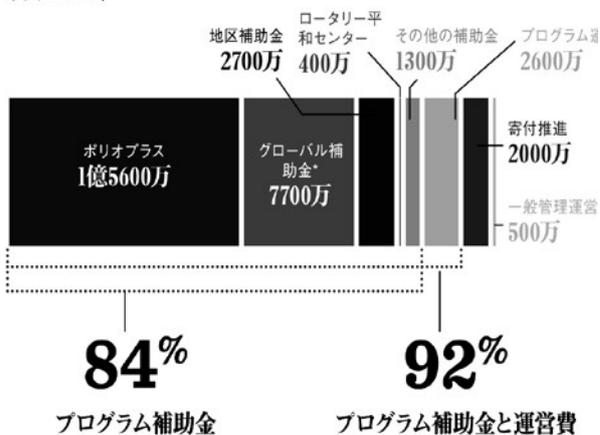
## R I 2017-2018年度の財務報告

### 会費はどのように使われるか



### ロータリー財団の支出

(単位:ドル)



\*返金その他調整後

### 国際ロータリー 収支報告

2017年会計年度と2018年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2017年実績	2018年実績
会費	\$ 68,784	\$ 73,330
投資純益	9,527	3,368
支援業務その他の活動	28,529	27,803
<b>収入合計</b>	<b>\$ 106,840</b>	<b>\$ 104,501</b>
支出		
運営費	\$ 74,117	\$ 79,497
支援業務その他の活動	20,819	19,471
一般剰余金	1,577	1,196
<b>支出合計</b>	<b>\$ 96,513</b>	<b>\$ 100,164</b>
為替差損	\$ (75)	\$ (1,080)
純資産の増加		
	\$ 10,252	\$ 3,257
純資産(期首)	\$ 126,587	\$ 136,839
純資産(期末)	\$ 136,839	\$ 140,096

### ロータリー財団 収支報告

2017年会計年度と2018年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2017年実績	2018年実績
寄付	\$ 304,375	\$ 341,135*
投資純益	98,052	56,256
補助金その他の活動(純額)	(2,529)	1,751
<b>収入合計</b>	<b>\$ 399,898</b>	<b>\$ 399,142</b>
支出		
プログラム補助金	\$ 221,204	\$ 277,225
プログラム運営費	23,206	25,462
寄付推進	19,888	20,350
一般管理運営	4,753	5,435
<b>支出合計</b>	<b>\$ 269,051</b>	<b>\$ 328,472</b>
為替差損	\$ (495)	\$ (1,608)
誓約未収入金のための予備費	\$ (1,810)	\$ (440)
純資産の増加	\$ 128,542	\$ 68,622
純資産(期首)	\$ 930,134	\$ 1,058,676
純資産(期末)	\$ 1,058,676	\$ 1,127,298

\*予測収入5950万ドルおよびポリオプラス基金振替の額1410万ドルは含まれていません。

\*\*上記は未監査の数字です。監査済みデータはrotary.org/ja/annualreportをご覧ください。

## 2019年規定審議会報告

# クラブと地区に関連する重要な変更

(括弧内の数字は関連する制定案番号を示しています)

### 出席

メイクアップ：ロータリアンは、欠席した例会のメイクアップを同じロータリー年度内に行うことができます (19-35)。

### クラブ理事会

会長：クラブ会長は、後任者が選出されていない場合、1年まで任期を延長できます (19-22)。

### クラブ財務

財務報告：役員を選挙するための年次会合に、現年度と前年度の収支を含むクラブの中間財務報告が含まれます (19-24)。

衛星クラブの財務：衛星クラブの財務諸表は、監査または検査を受けたものとなります (19-29)。

クラブ人頭分担金の増額：2019-20年度の人頭分担金は半年ごとに34ドルです。より良い支援をクラブに提供するため、今後3年間はR I 人頭分担金が年に50セントずつ増額し、2020-21年度には半年ごとに米貨34ドル50セント、2021-22年度には半年ごとに米貨35ドル、2022-23年度には半年ごとに米貨35ドル50セントとなります (19-82)。

### クラブの名称または所在地の変更

通告期間の延長：クラブの名称または所在地の変更案は、その変更に関する投票が行われる少なくとも21日前までに、各会員とガバナーに提出する必要があります (19-26)。

クラブの結成：地域にクラブを結成する際の職業分類の制約がなくなりました。地域に1つ以上の他のクラブが存在する場合も、その地域にクラブを結成することができます。主にオンラインで活動するクラブの所在地域は、全世界とするか、またはクラブ理事会が決定するものとされます (19-28)。

### クラブの規則

文言の現代化：推奨ロータリークラブ定款の文言が自然かつ読みやすくなるよう、現代化かつ簡素化されました。これによる方針への実質的な変更はありません。全クラブでの採用が義務づけられた新しいバージョンをダウンロードいただけます (19-30および19-116)。

### 地区の財務

提出期限の延長：ガバナーを務めてから1年以内に、独立検査を受けた地区の年次財務表および財務報告書を地区内のクラブに提出し、クラブの承認を受ける必要があります (19-57)。

### 地区のリーダーシップ

副ガバナーがない場合：ガバナーが任務を果たせなくなり、副ガバナーがない場合、パストガバナーのみがガバナーの任務を行うことができます (19-53)。

### 選挙

クラブの投票権：クラブが投じることのできる票数は、7月1日付のクラブ請求書の会員数に基づいて決定されます (19-49)。

対抗候補者の指名期限：有効な対抗候補者の指名をガバナーが受け取った場合、この対抗候補者の指名が30日間有効であるなら、候補者について郵便投票または地区大会での投票が行われます (19-52)。

地区会費：地区会費を支払い済みであり、ガバナーの判断により地区に対して負債がないクラブのみが、



理事指名委員会の委員と補欠委員を選挙するための投票、ガバナーノミニーの選出、地区大会選挙人による投票に参加できます (19-54)。

### 会員増強

ローターアクトクラブ：ロータリークラブのように、ローターアクトクラブも国際ロータリーの加盟クラブとなります。ローターアクトクラブと提唱ロータリークラブへの運営上の変更はありません。この規定により、ローターアクトクラブの地位向上を図るとともに、その発展を促すためにR Iからの支援とリソースを増やすことができます (19-72)。

多様性：クラブは、多様性を推進するような均衡のとれた会員構成を必要とします (19-18)。

職業分類：職業分類の制限が廃止され、特定の職業分類の会員の適切な数をクラブが自ら決定できます。さらに、選挙または任命によって公職にある人も、その職務と関連する職業分類を使ってクラブに入会できます (19-37および19-39)。

少人数のクラブ：会員数が6名未満となったクラブを終結とするよう、ガバナーがR I理事会に要請することができます (19-70)。

## ご投稿をお待ちしています！ 『ロータリーの友』 投稿規定

### 友愛の広場 ★★

- ・エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など。

原稿：1000字程度 写真：あれば添付

### ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

- ・ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください。

原稿：150字程度 (必ず活動日を入れてください)

写真：記念撮影以外で活動の様子が分かるもの

### ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

- ・紹介内容は写真編と同じ。活動後1カ月以内にご投稿ください。

原稿：600字以内

写真：あれば貼付 (記念撮影以外)

### ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・1カ月に1人はがき1枚に3句 (首) まで。クラブ名・お名前・電話番号を記入。メール投稿はお受けできません。

### 声 ★★

- ・友誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日が締め切り。

原稿：200字以内。対象記事を明記してください。

★★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

※投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。規定字数を超える場合は編集させていただきます。また、ひらがな・漢字などは、『友』の表記に統一させていただきます。

※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、(一社)ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載の場合があります。

※掲載は、(一社)ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめどにご判断ください。

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友   
Home Page  
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)



### 送り先・お問い合わせ

#### 一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956 Eメール [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)

ロータリーの友ウェブサイト投稿フォーム [www.rotary-no-tomo.jp/form.php](http://www.rotary-no-tomo.jp/form.php)

## 2019-2020年度 会長・幹事・米山委員長セミナー報告

地区米山記念奨学会 委員 高谷 信 一（長崎出島RC）

国際ロータリー第2740地区の2019-2020年度「次期会長・幹事・米山記念奨学委員長セミナー」が2019年6月23日(日)東彼杵町総合会館にて開催されました。本セミナーには千葉ガバナーエレクトを始め、各グループのガバナー補佐及び各ロータリークラブの次期会長・幹事・米山記念奨学委員長並びに米山記念奨学生、地区米山委員等総勢150名程に参加頂き開催されました。

初めに、千葉ガバナーエレクトから、ベトナムと日本との関係を例に挙げ、引き続き日本の将来のために、米山記念奨学会への寄付を通じて世界の優秀な学生たちに力を貸して欲しいとの挨拶がありました。

米山記念奨学会理事の駒井パストガバナーから、米山記念奨学会理事会の説明並びに奨学生については世話クラブとカウンセラーによるケアに重点を置き、大事に育てて欲しい。また、奨学生が出身国へ帰り日本とのかけ橋として活躍するのも良いが、大変優秀な学生ばかりなので、地元企業に採用して頂き活躍してもらいたいのではないかという話を頂きました。

次に、大家地区米山記念奨学委員長による米山記念奨学会の概要及び当地区の状況についてのプレゼンテーションがあり、その中では奨学金の給付を投資と考え、また他の奨学金制度には無く米山記念奨学会の特色である世話クラブとカウンセラー制度を活かし、愛と人情を込めて奨学生と接することで、知日、親日の人材を育てて欲しいとの説明がありました。

続いて、奨学生の皆さんが少し緊張しつつも、なめらかな日本語で自己紹介をこなし、学友会会長の趙コウエンさんは自身のエピソードを引用し、奨学金はお金そのものよりも培った人々との絆が大切であり、今でも宝になっているという話をされました。

その後、本多地区委員から各クラブへ奨学生が「出前卓話」に何うので、その際には卓話のみならず、奨学生と交流する時間を是非とも作って頂きたいとお願いがありました。

最後に、松田次期地区副幹事が閉会の辞を行い、無事セミナーが終了いたしました。

本セミナーを通じて強調されたのは、個人平均寄付額につき、当地区は現状一人当たり年間約12,400円であるが、これを全国平均の年間16,000円まで引き上げていきたい、これはより多くの奨学生を当地区に割り当てて貰うのに必要なことであるため、各自クラブに持ち帰り、ロータリアンの皆様に伝え協力をお願いして欲しいということでした。

奨学生の皆さまには、会場の設営から受付、撤収まで大変お疲れ様でした。





# 文庫通信 [377]

ロータリー文庫通信377号 2019年6月 新会員にお勧めする書籍

7月はロータリーの新年度です。昨年入会された方々はそれぞれの地区/クラブで「研修」の名の下にロータリーの知識を学び、徐々にロータリーに溶け込んでいることと思います。ロータリーとは何か、ロータリアンとは何か、いろいろな疑問を抱き始める頃です。身近な先輩諸兄の話を書くことも必要です。ロータリー文庫には先達の残した随筆や小論があります。新会員の方に是非とも読んでいただきたいものを選んでみました。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
多種多様の中の調和と個人の確立	佐々木統一郎 -	1971	11P	※
新人のためのロータリー情報-クラブ奉仕-出席と親睦と奉仕との相関	佐々木統一郎 -	-	7P	※
あなたにとってロータリーとは何か 改訂版	菅野多利雄 -	2012	23P	※
あなたは何故ロータリアンなのですか?	中山義之 D.2770	2008	19P	※
〈対談集〉いまロータリーが忘れてのこと	森三郎・渡辺好政 D.2700	〔1999〕	14P	※
私のロータリー観 -アイ・サーブとウイ・サーブ-	増田房二 京都東 R. C.	1987	17P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

\*資料の検索は文庫ホームページから <https://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫 HP での、「ロータリー文庫検索」の検索方法を改善しました。キーワードでの検索方法が充実し、下記のように「書籍・冊子等」/「記事」/「PDF」の3つに絞って、資料が探しやすくなりました。ぜひご活用ください。

<キーワード検索>.....

◆絞り込み検索

書籍・冊子等を探す  記事を探す  PDFを探す(複数選択可)

検索

JICA海外協力隊

## マダガスカル通信

Vol.1



発行/2019年5月31日 発行者/酒井 貴子 (2018-2019年度 ロータリー財団奨学生)

## マダガスカルに来て早2か月！近況を報告します。

## 最初の一か月は首都でマダガスカル語研修！

マダガスカルに到着後、すぐに首都アンタナナリボでマダガスカル語研修が始まりました。マダガスカルではフランス語が公用語ですが、田舎ではマダガスカル語しか話せない方も多いそうです。首都からバスで7時間の場所に赴任する私にとってはマダガスカル語はまさに必須の言語！できないと活動ができません。マダガスカル語はほとんどの動詞が「M」から始まるため、とても覚えやすく、また語順は「動詞+目的語+主語」と日本とは真逆となっています。

初めての環境で熱を出したり、お腹を壊したりとハプニングもありましたが、マダガスカル人の先生2人に助けられながら、一日5時間の授業+プレゼンテーション2回を何とか乗り切ることができました。



同期隊員、マダガスカル語の先生と。

マダガスカル語の授業はマダガスカルの東大！（であろう）アンタナナリボ大学の日本語学科の教室で行われました。マダガスカルはなぜかアフリカで1位・2位を争うほど日本語教育が人気の国と言われているそうです！上記写真右側の先生は普段は日本語の先生をされています。



小屋に見えるかもしれませんが、学生食堂です。

## 一般家庭でのホームステイも

**経験！** 首都研修中にはマダガスカルの一般家庭での生活を知ろうということでホームステイも行われます。私は、ワオキツネザルなどのぬいぐるみを作って販売しているビジネスをされている家庭にステイしました。お手伝いさんを2人雇っているなど裕福な家庭だったのですが、日中は断水してしまう、シャワーはお湯が出ずバケツで入浴するなどの問題がありました。インフラが整っていないため、いくら裕福でも日本のような生活はできないんだと感じました。



ホスト先の親戚全員によるピクニックに参加し大歓迎していただきました。

## 首都アンタナナリボの印象！

私が1か月間生活したアンタナナリボの第一印象はとにかく車が多い！市内には電車が走っていないので、住民はみんな車で移動するしかありません。また大きな道路でも信号がないため、歩行者は次々に来る車の合間を縫って渡らなければなりません。これには1か月たっても慣れることなく毎回びくびくしながらわたっていました。



また、私たちは大学に通う時は上記写真のような乗り合いバス（タクシーベ）に乗っていました。写真のようにバスの後ろから乗り込みます。乗るためには激しい争奪戦に勝たなければならず、毎朝汗を流していました。また、せっかく乗れたと思っても、通勤ラッシュ時間帯のひどい交通渋滞が待っています。普段なら30分で行けるところまで2時間半はかかってしまうので、ぎゅうぎゅう詰めの車内でひたすら耐える毎日でした。

また、生活していると住民間の経済格差も感じました。はだして物を乞いをしている子供がそこら中にいる一方で、街の大型スーパーには流行の服を着てきれいなフランス語を話す子供がいました。生まれる家庭によってここまで人生が変わってしまうのかと実感しました。

## 日本とのつながり発見！

私のホストファミリーはワオキツネザルなどマダガスカルの動物のぬいぐるみを作って販売しています。写真のように従業員の方が一つ一つ手作りで丁寧に作っています。ここで作られたぬいぐるみはなんと、愛知県にある日本モンキーセンターでも販売されているそうです。こんな遠くで愛情込めて作られたぬいぐるみはるか遠い日本でも販売されていると聞いてなんだか嬉しくなりました。



## 芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

## 苦惱、巡りくる夏

草野源一郎（歌人 諫早RC）

五十九年を隔たりゆきしわが学友よ  
蝉はひとつの息ひきて啼く

核廃絶の熱き声々聞きしかど  
病むものはひとり心しずめむ

原爆を逃れて生きて

黙禱の一分をのみ五十九年は

おほかたの友死に果てぬ

原爆を浴びたるものも  
浴びざるものも

取り返しつかぬはつかぬままに  
よし生き遂ぐるべき齢となりき

歌集「本明川」より



被爆遺構 爆風により傾いた長崎医大門柱

ま え が き  
猛暑の夏が訪れるたびに、草野源一郎氏の胸中を過るある思いがあった。原爆投下によって、多くの学友がその犠牲になる中、ある偶然が幸いしてその難を逃れ、生き延びた事への負い目であった。氏の短歌に詠まれる所以はそのためであろう。

## 編集後記

満開の向日葵に見送られながらガバナー公式訪問がスタートした。今年度は公式訪問ガバナー所感が発表されるらしい。千葉憲哉ガバナーの想いを紙面に反映出来るよう精励していきたい。

この月信が皆さんの手に届く頃には梅雨も明けて夏本番であろう。

（雅）